

令和2年度（2020年度） 学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工業	科目	プログラミング技術	単位数	4	学年	2	科	情報技術科
----	----	----	-----------	-----	---	----	---	---	-------

1、科目の目標

- ① 言語規則など、プログラミング言語文法に関する基礎的な知識を習得する。
- ② コンピュータによる処理手順の理解と、手順を踏んだ問題解決の態度を身に付ける。
- ③ 基本的なアルゴリズムの理解と構造化・標準化に対する態度と技術を習得する。
- ④ 応用的プログラム開発における基礎的な知識と技術を習得する。

2、使用教科書・副教材

プログラミング技術 コロナ社

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	5月	C言語の基本構文 ・ 条件に応じた分岐と繰り返し ・ 配列の利用 ・ プログラムの部品化（関数化）	期末考查	20
	6月			
	7月			
二学期	8月	C言語の応用的プログラミングの理解 ・ 構造体とポインタ ・ プログラムの部品化（クラスの定義） ・ オブジェクトの生成	中間考查	56
	9月			
	10月		期末考查	
	11月			
三学期	12月	JavaScript と CSS・HTML5 の理解 ・ Web デザイン ・ ゲーム制作 ・ オセロゲームを用いてプログラム対戦、発表会	学年末考查	44
	1月			
	2月			
	3月			

4、評価の方法

主体的な言語活動	生徒への発問やその解答など対話形式で行い、理解度を確認しながら演習を中心とした内容を取り入れ授業展開を進める。
関心・意欲・態度	授業への取組、課題等の取組、提出状況を見る。また、出席なども参考とする。
思考・判断・表現	課題や演習の過程、またその反応などを注視する。
観察・実験の技能	上記の2項目などを前提として、物の見方や行動力・技術や技能への方法や作業を見る。
知識・理解	上記の3項目を踏まえ、定期考查などを加え総合的に判断する。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

座学ではあるが、基本的には、実際にプログラムを書く時間を多く設け、理解を深めると同時に、使える技術を身に付けることを目的とします。課題が多くの授業内だけでは、終わらないこともあるため、家庭での学習を自主的に行うことも大切です。